

右等は民政党内閣が組閣以來二  
 三年の行蹟を問して彼等が今や  
 完全に資本家地主の走狗たる本  
 質を露呈せるを認める。五十九  
 議會に於る民政党内閣の勢力の  
 一切は労働組合法案の壓殺であ  
 る。労働争議調停法改正を名を  
 假る労働争議の押殺である。緊  
 縮政策、産業合理化の美名に隠  
 れて労働階級に対する失業抑制で  
 ある。一切を擧げて労働階級に  
 加へる危険懸念なる懸念である  
 吾等は少數資本家の利益の前に  
 一般労働大衆の利益を犠牲にし  
 生存権を削奪し深刻なる不景氣  
 に拍車を加へ全民衆の生活を一  
 層のどん底に叩きこんで活餘を  
 閑の延長なる左派民政党内閣に  
 對して労働者農民の一切の力を  
 集中して押殺する。

右決議す。

昭和六年四月十九日  
 日本労働總同盟  
 中央合同労働組合  
 昭和六年度大會

財團協同

207